陸震庭の屋敷から発見された紅薔の亡骸。ということは范仲淹にも危険が迫っているということです。様々な陰謀がひしめく中、范仲淹はうまく乗り切れるのでしょうか？

『花と将軍第34話』

陸震庭の妻、丁氏は夫をかばって自分が罪をかぶることにします。丁氏は紅薔が盗みを働いたので叱責したところ井戸に身を投げた、でも自分は紅薔は逃げたのだと思って身を投げたことを知らずそのままになってしまった、水路を修理して亡骸が出てきて初めて知った、と証言するのでした。そして裁きを行う京兆尹は自分の家に何者かによってお金が投げ込まれ、返すあてがないことから仕方なく受け取る羽目になり、紅薔の事件も自殺として処理するのでした。

【京兆尹は正義感の強い人でしたが、自分の寝所にお金を投げこまれ誰に返すこともできず、たぶん陸震庭と見当はついていても賄賂を受け取ったと言われかねないのでどうすることもできませんでした。可哀想な紅薔は自殺とされ、悪者の思うままになってしまい口惜しい話ですね！】

范仲淹は養女の紅薔を失って悲しんでいましたが、仁宗の命で三司使の財務監査に行く事になります。葉昭の義理の姉で范仲淹の妹である范二娘は、三司使の判官が范仲淹の政敵、劉太傅であることを考えて心配します。

案の定三司使の正財司に赴いた范中淹は劉太傅の謀略で部屋に火をつけられてしまいます。そしてなんとか外に逃げ出すのでした・・。

『花と将軍第35話』

葉昭の虎嘯七首を偽造した李親方を里拉に殺させた黒幕がわからず、葉昭に疑いがかけられたことで玉瑾は苛立っていました。玉瑾の悪友、張珪は自分を官職に就かせてくれるなら協力すると言います。それで玉瑾は仁宗に頼んで張珪を巡城御使の副官に登用して貰いました。

張珪は副官として囚人を取り締まる仕事に就きますが、部下の小黒の不審な行動に気づきます。小黒は囚人の陳天猫からわいろを受け取って、陳天猫にだけ肉などのご馳走を与えていたのでした。それを小黒から白状させた張珪は、今度陳天猫が二刻ほど外に出して欲しいと願い出ていると聞きます。張珪は自分が牢屋の見張りのときに出してやろうと言うのでした。

そして外に出た陳天猫は貴人の屋敷に侵入して金品を盗み出しますが、葉昭の部下の秋水たちに捕らえられ、玉瑾や葉昭、張珪の前に突き出されるのでした。何をしていたかと張珪に聞かれてもしらばっくれる陳天猫。しかし葉昭が生き閻魔の大将軍と知るや恐れをなして白状するのでした。

そして陳天猫が葉昭の七首の贋作を人から依頼されて李親方から盗んだことがわかり、玉瑾は李親方の案件の審理をし直すことにします・・。

【頼りなかった遊び人の玉瑾ですが、今や巡城御使として濡れ衣を着せられた葉昭を助けようとしています。大将軍の葉昭に匹敵する夫ではなかったのに立場が逆になってきましたね！】

『花と将軍第36話』

密かに仁宗に謀反を企てる祈王は、葉昭が罷免されたことを好機として恵州の儂智高に金を贈り挙兵させます。儂智高は崑崙関を占拠し、討伐軍も撃退します。

仁宗は楊文広の提議で葉家軍の軍師、胡青を儂智高の討伐に向かわせます。実は胡青は仁宗の密使で、仁宗の反逆者を調べていました。そして小麻雀を陸震庭の賭坊に誘い込んで隠し金を暴いたり、紅薔が陸震庭の密偵であり、口封じで殺されたことも仁宗に伝えていたのでした。

また数年前、葉家軍にいた間者が門を開けたことで起きた雍関の陥落も同じ黒幕の指示だったと胡青は仁宗に告げるのでした。

【葉昭の軍師、胡青は仁宗の密使だったのですね！そして殺された紅薔が陸震庭の配下のものだったなんて。真面目そうな可愛らしい女の子だったのに驚きですね！！小夏子の紅薔への想いも、初めからかなわない恋だったんですね・・】

そして胡青が出征すると今度は貝州でも反乱が起きます。劉太傅が討伐軍を率いますが、戦況を知らせてこない劉太傅に仁宗は苛立ちます。

仁宗の苦境を知った玉瑾は貝州に葉昭を連れて偵察に行きたいと仁宗に告げ、許可を得ると貝州に赴きます。そして貝将軍に門を開けるよう請うのでした・・。

『花と将軍第34～36話』

いよいよ「花と将軍も」も戦いモードになってきましたね。仁宗の兄、祈王の天下取りの野望が明らかになり、これまでの悪だくみの数々も表に出てきました。こうして宋が脅かされるということはやはり仁宗には大将軍の葉昭が必要なのでしょうね。きっと次回からは夫の玉瑾とともに反乱軍と戦う葉昭の雄姿が見られるでしょう！

恵州の儂智高の方も胡青が討伐を任されたからには安心ですね。きっと完全に制圧して心配する秋水と再会できるでしょう。葉昭を想い続ける一途な胡青ですが、玉瑾と相思相愛である以上秋水の気持ちに応えてやって欲しいものです。

そして胡青が最終的に狙っている、かって葉昭を襲った間者の正体もわかってきそうですね！！